

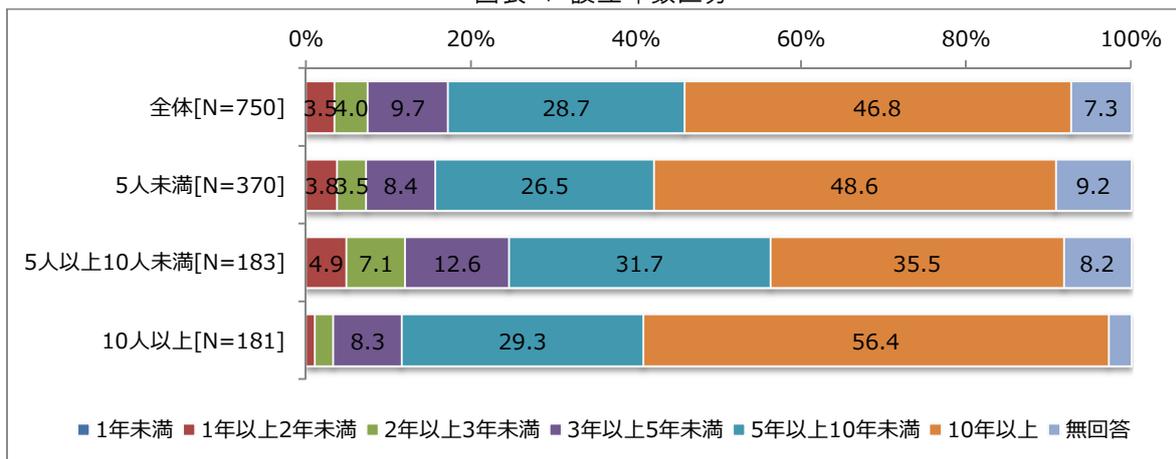
2 行動援護事業実態調査

(1) 事業所概要

① 設立年数

回答のあった行動援護事業所の事業所設立年数は、「10年以上」が46.8%、「5年以上10年未満」が28.7%等となっている。

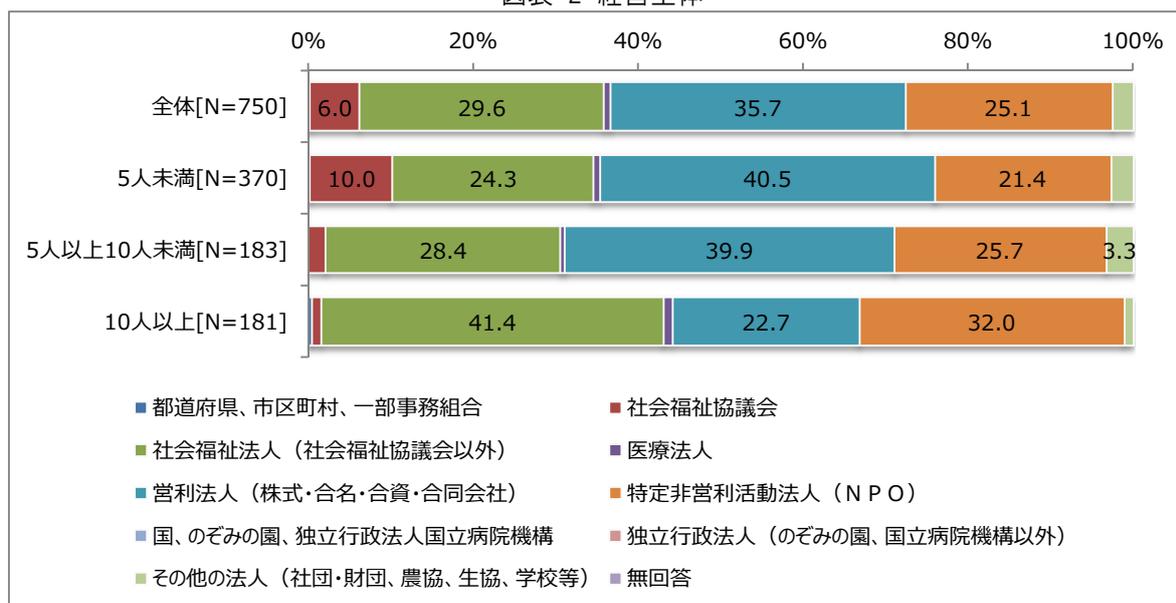
図表 1 設立年数区分



② 経営主体

事業所の経営主体は、「営利法人（株式・合名・合資・合同会社）」が35.7%、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が29.6%、「特定非営利活動法人（NPO）」が25.1%等となっている。回答事業所のサービス利用者数の別で見ると、利用者の多い事業所は社会福祉法人の割合が高い。

図表 2 経営主体

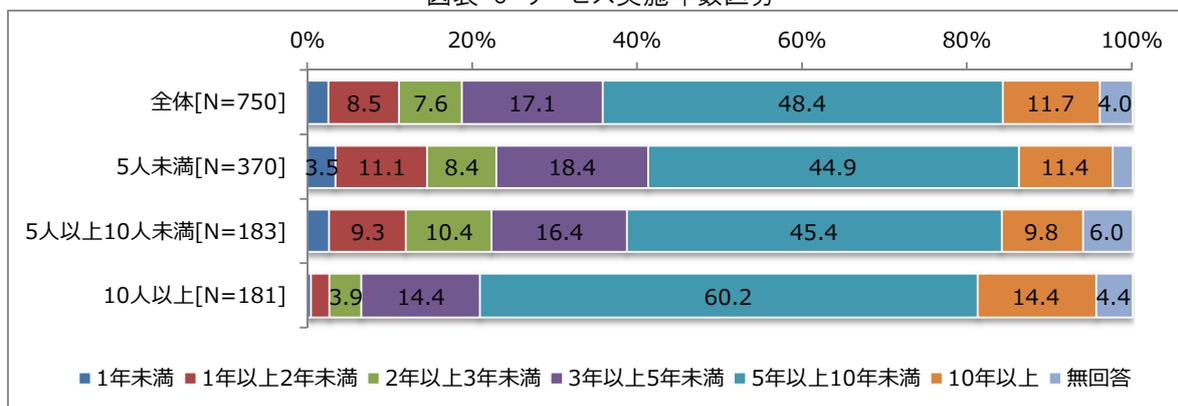


(2) 行動援護サービスの基本情報

① サービス実施年数

行動援護サービスを開始した時期から平成28年9月までの期間を見ると、「5年以上10年未満」が48.4%、「3年以上5年未満」が17.1%、「10年以上」が11.7%、「1年以上2年未満」が8.5%、「2年以上3年未満」が7.6%、「1年未満」が2.7%となっている。

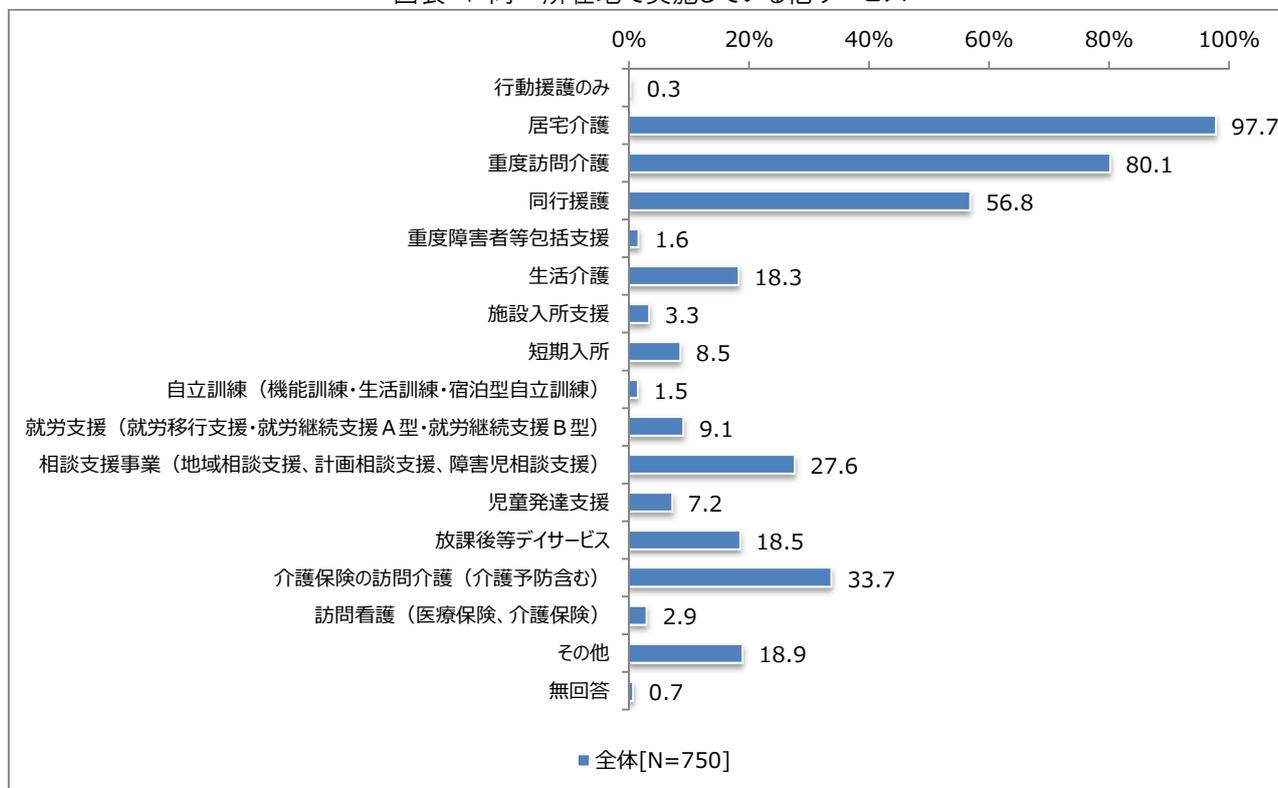
図表 3 サービス実施年数区分



② 同一所在地で実施している他サービス

同一所在地で実施しているサービスは、「居宅介護」が97.7%、「重度訪問介護」が80.1%、「同行援護」が56.8%など、訪問系サービスが高い割合となっている。

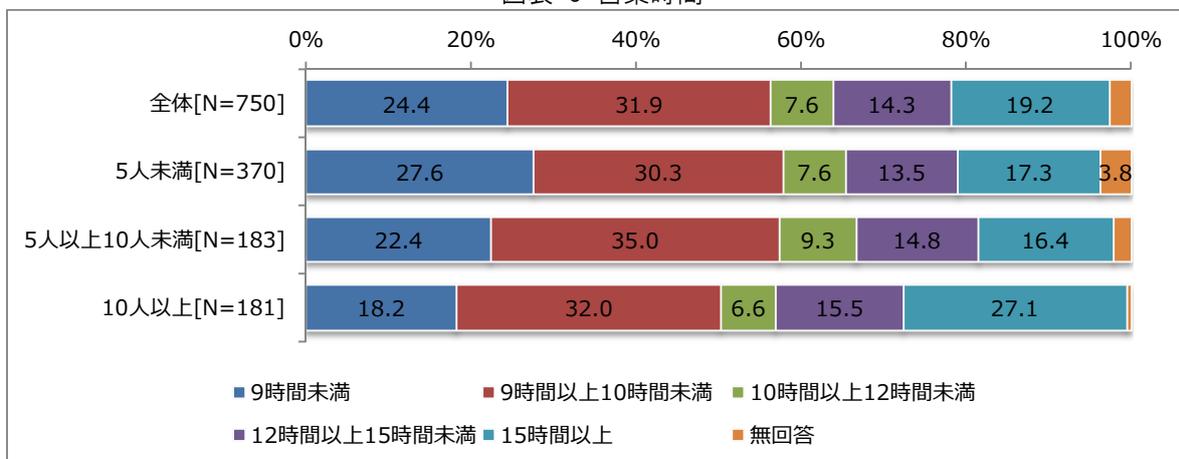
図表 4 同一所在地で実施している他サービス



③営業時間

行動援護サービスの営業時間については、「9時間以上10時間未満」が31.9%、「9時間未満」が24.4%等となっている。利用者の多い事業所で営業時間の長い傾向が見られる。

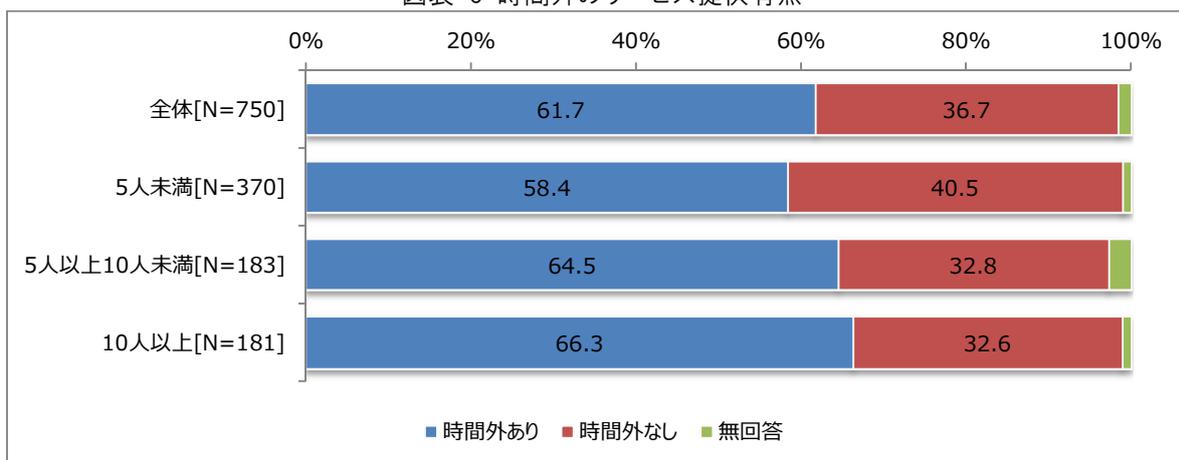
図表 5 営業時間



④時間外のサービス提供有無

時間外のサービス提供については、「時間外あり」が61.7%、「時間外なし」が36.7%となっている。

図表 6 時間外のサービス提供有無

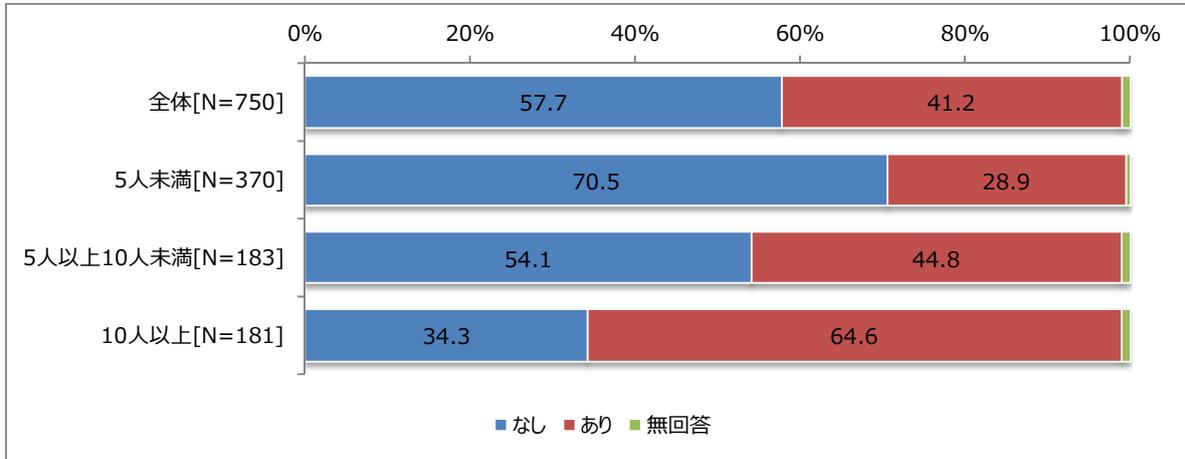


⑤ サービス提供できなかった事例

平成27年10月～平成28年9月の1年間で、サービス利用の照会があったが受け入れできなかった事例があったかどうかを聞いたところ、「なし」が57.7%、「あり」が41.2%となっている。

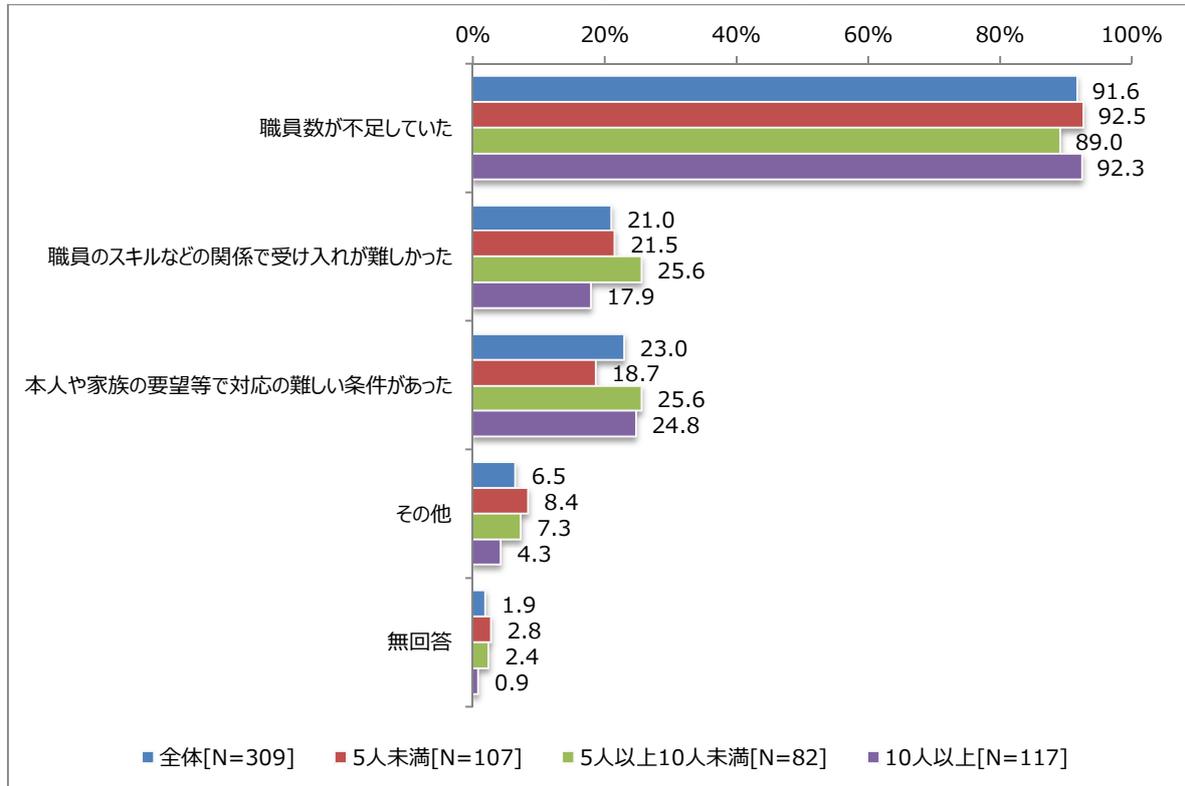
「あり」と回答したところの平均件数は5.4件となっている。

図表 7 サービス提供できなかった事例の有無



「あり」と回答したところに、サービス提供できなかった理由を聞いたところ、「職員数が不足していた」が91.6%と高い割合である。

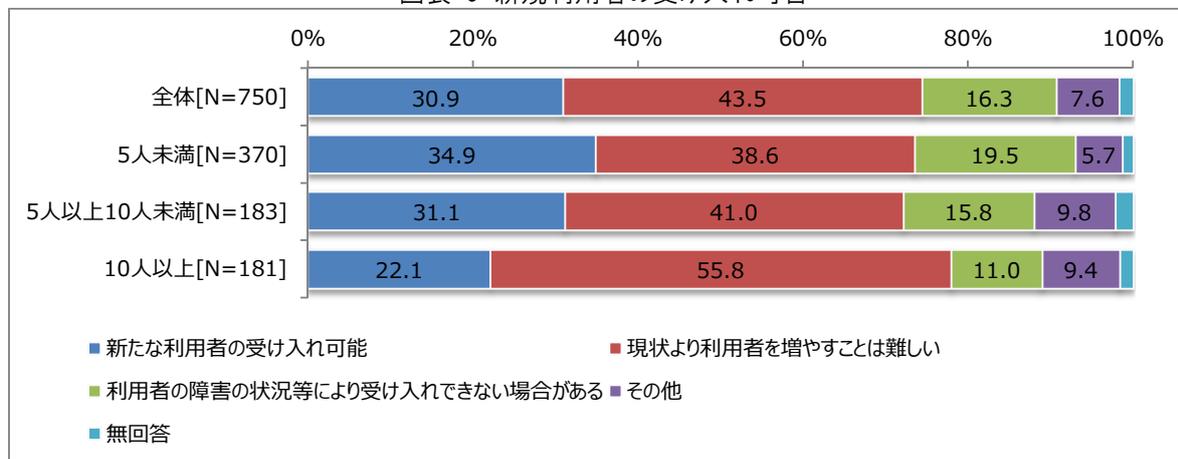
図表 8 サービス提供できなかった理由



⑥新規利用者の受け入れ可否

新たな利用者の受け入れ可否について聞いたところ、「現状より利用者を増やすことは難しい」が43.5%、「新たな利用者の受け入れ可能」が30.9%、「利用者の障害の状況等により受け入れできない場合がある」が16.3%となっている。利用者数の多い事業所で、「現状より利用者を増やすことは難しい」の割合が高くなっている。

図表 9 新規利用者の受け入れ可否

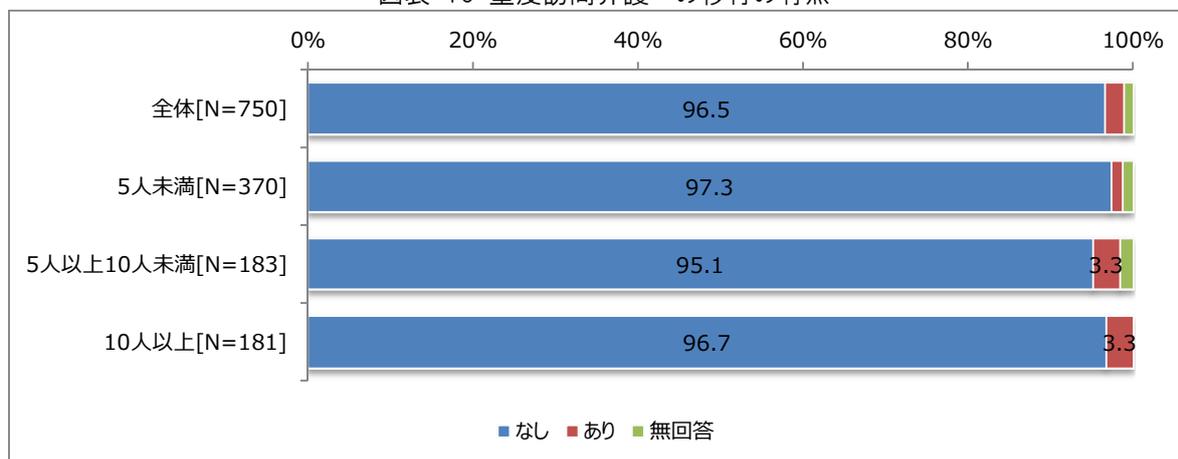


⑦重度訪問介護への移行の有無

平成27年10月～平成28年9月の1年間で、事業所の行動援護の利用者が重度訪問介護の利用に移行した事例があるかどうかを聞いたところ、「なし」が96.5%とほとんどを占める。

「あり」と回答したところは16事業所で、移行先としては「同一事業所サービスへの移行」が平均1.1人であった。

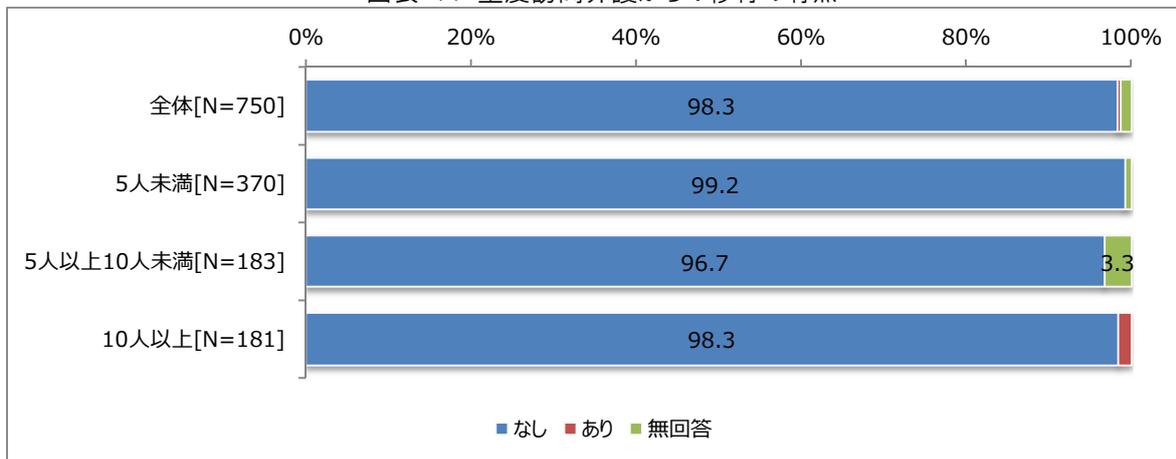
図表 10 重度訪問介護への移行の有無



⑧重度訪問介護からの移行の有無

平成27年10月～平成28年9月の1年間で、重度訪問介護の利用者が事業所の行動援護の利用に移行した事例があるかどうかを聞いたところ、「なし」が98.3%とほとんどを占める。「あり」と回答したところは3事業所で、同一事業所サービスから移行が平均0.7人、同一法人の別事業所サービスから移行が平均0.3人であった。移行した理由としては、「状態の変化等により長時間支援等の必要性が少なくなった」、「本人・家族等の希望」、「必要な重度訪問介護のサービス提供時間が得られなかった」の回答があった。

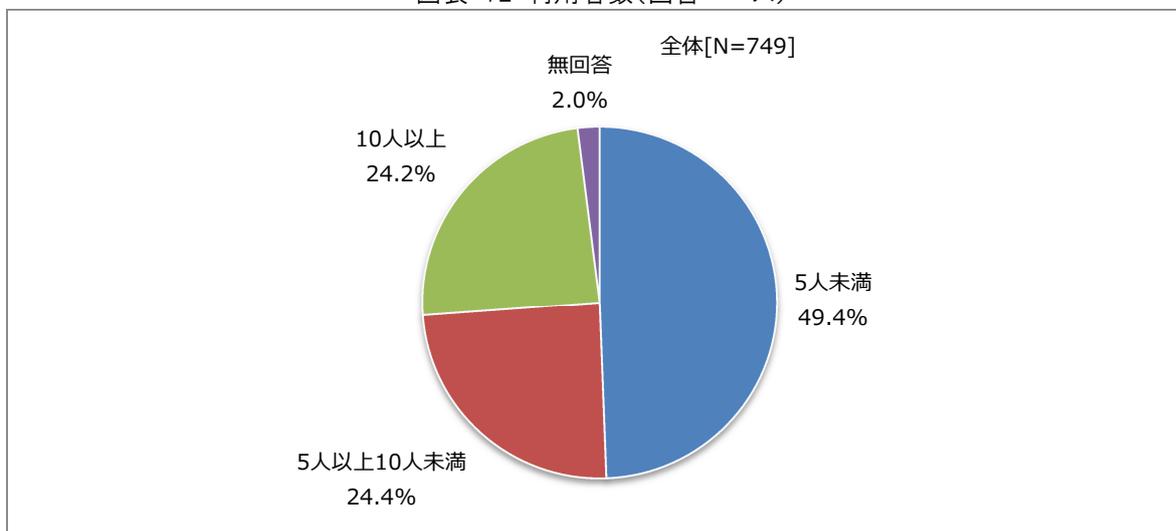
図表 11 重度訪問介護からの移行の有無



⑨サービス利用者数

事業所における行動援護サービスの利用者数について、規模の区分を行ったところ、「5人未満」が49.4%、「5人以上10人未満」が24.4%、「10人以上」が24.2%となっている。

図表 12 利用者数(回答ベース)



(3) 職員の状況

①職員数

1事業所あたりの常勤職員数の平均は4.3人、非常勤職員の実人数の平均は5.9人、非常勤職員の常勤換算数の平均は1.6人となっている。

図表 13 職員数

	全体[N=734]	5人未満 [N=361]	5人以上10人未 満[N=179]	10人以上 [N=179]
常勤職員数	4.3	3.6	3.9	6.0
非常勤職員実人数	5.9	4.6	5.6	9.1
非常勤職員常勤換算数	1.6	1.4	1.5	2.0

②職員の採用・退職状況

平成27年10月～平成28年9月の1年間における、1事業所あたりの常勤職員の採用人数平均は0.3人、非常勤職員の採用人数平均は0.5人、常勤職員の退職人数平均は0.3人、非常勤職員の退職人数平均は0.3人となっている。

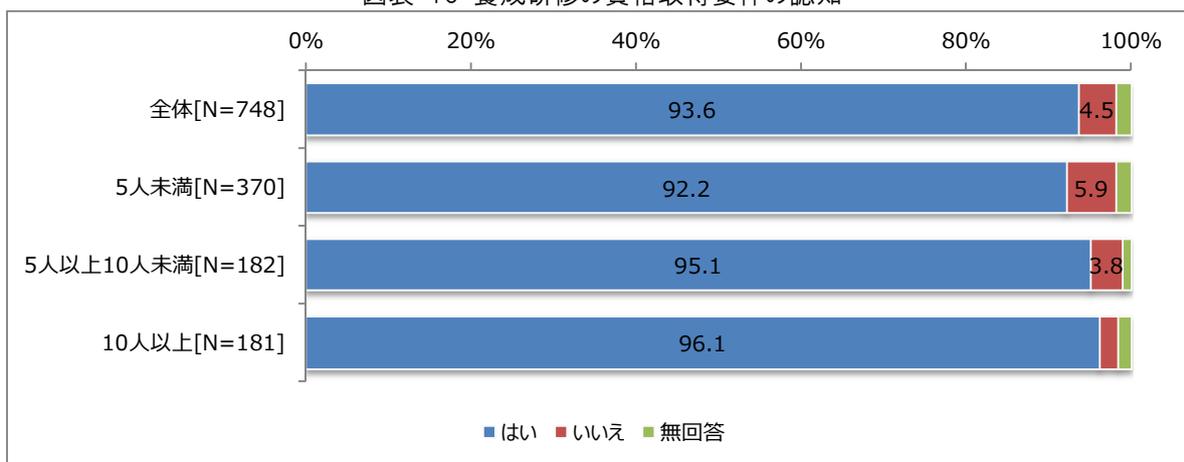
図表 14 職員数

	全体[N=750]	5人未満 [N=370]	5人以上10人未 満[N=183]	10人以上 [N=181]
常勤採用人数	0.3	0.2	0.4	0.5
非常勤採用人数	0.5	0.3	0.6	0.9
常勤退職人数	0.3	0.2	0.2	0.5
非常勤退職人数	0.3	0.3	0.3	0.5

③養成研修の資格取得要件の認知

平成30年3月31日以降、行動援護の従事者になるための資格取得要件についての認知状況は、「はい」が93.6%、「いいえ」が4.5%であり、ほとんどの事業所で認知されている。

図表 15 養成研修の資格取得要件の認知



養成研修の資格未保有者がいる事業所に、平成30年3月31日までの資格取得の見込を聞いたところ、取得可能人数の平均は3.9人、取得困難人数の平均は2.9人となっている。

図表 16 資格取得

	全体[N=622]	5人未満 [N=296]	5人以上10人 未満[N=158]	10人以上 [N=159]
取得可能人数	3.9	3.2	3.8	5.2
取得困難人数	2.9	3.2	2.3	2.9

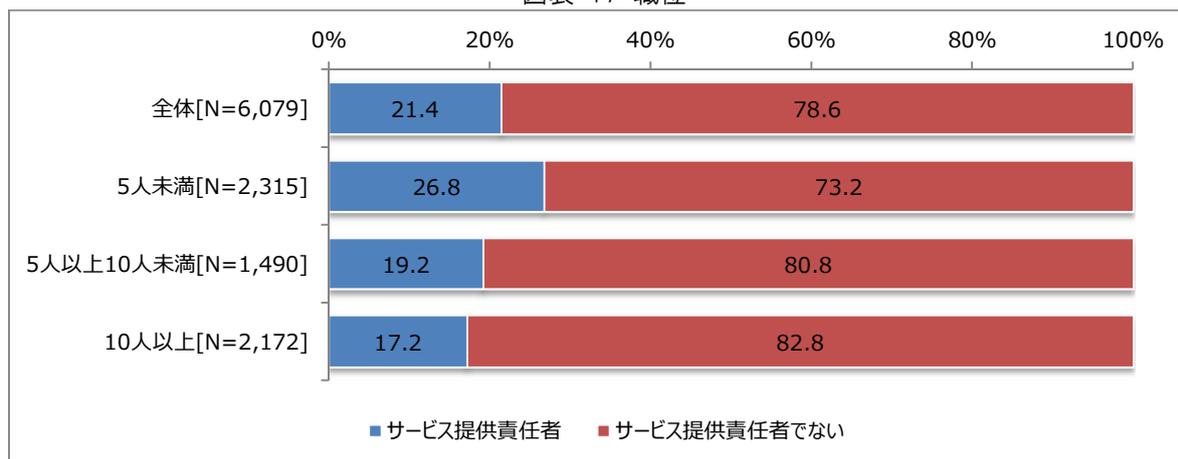
(4) 職員の概要

平成 28 年 9 月に在籍の行動援護に従事する全職員の概要について聞いたところ、以下の通りである。

① 職位

職位については、「サービス提供責任者」が21.4%となっている。

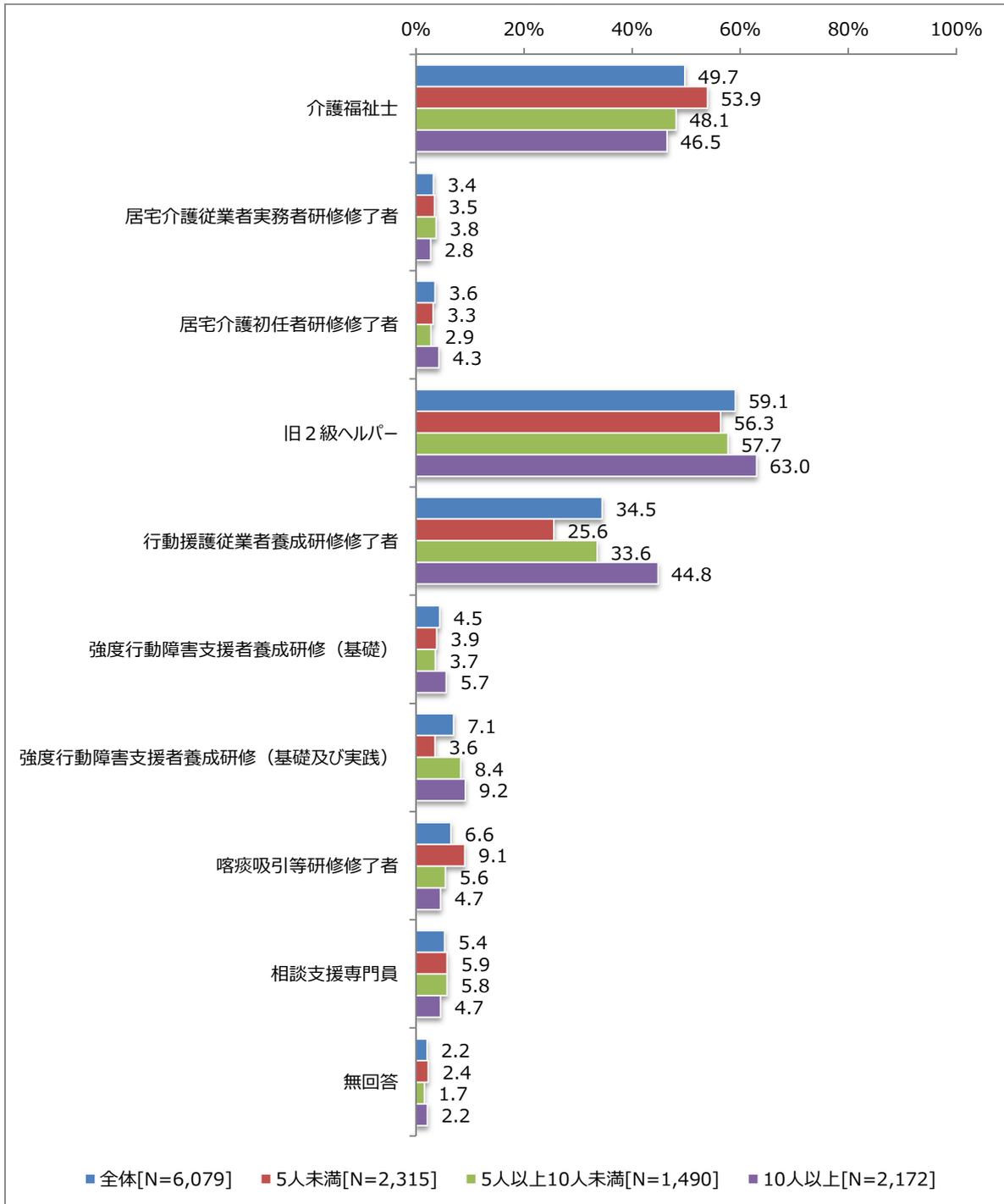
図表 17 職位



②資格

職員の有する資格は、「旧2級ヘルパー」が59.1%、「介護福祉士」が49.7%、「行動援護従業者養成研修修了者」が34.5%等となっている。

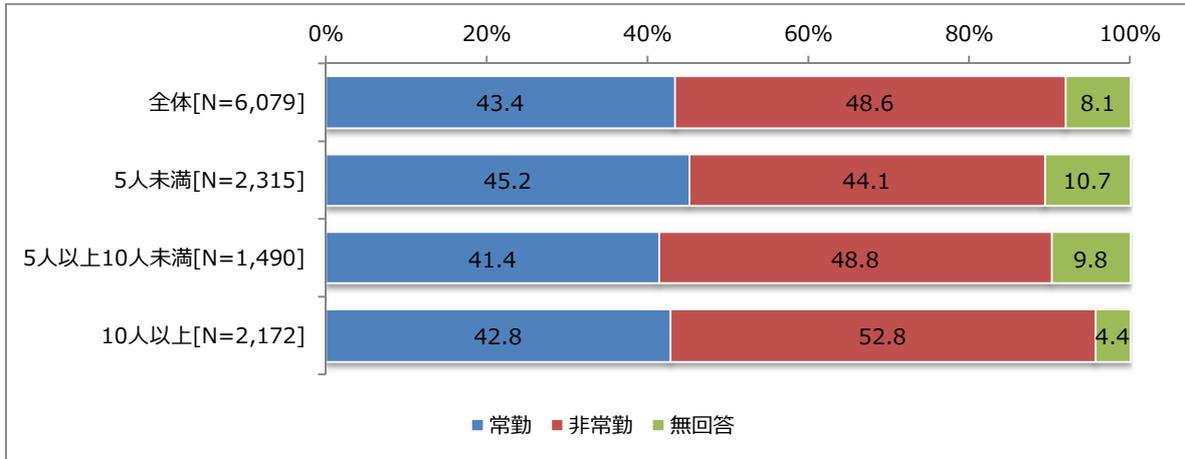
図表 18 資格



③就業形態

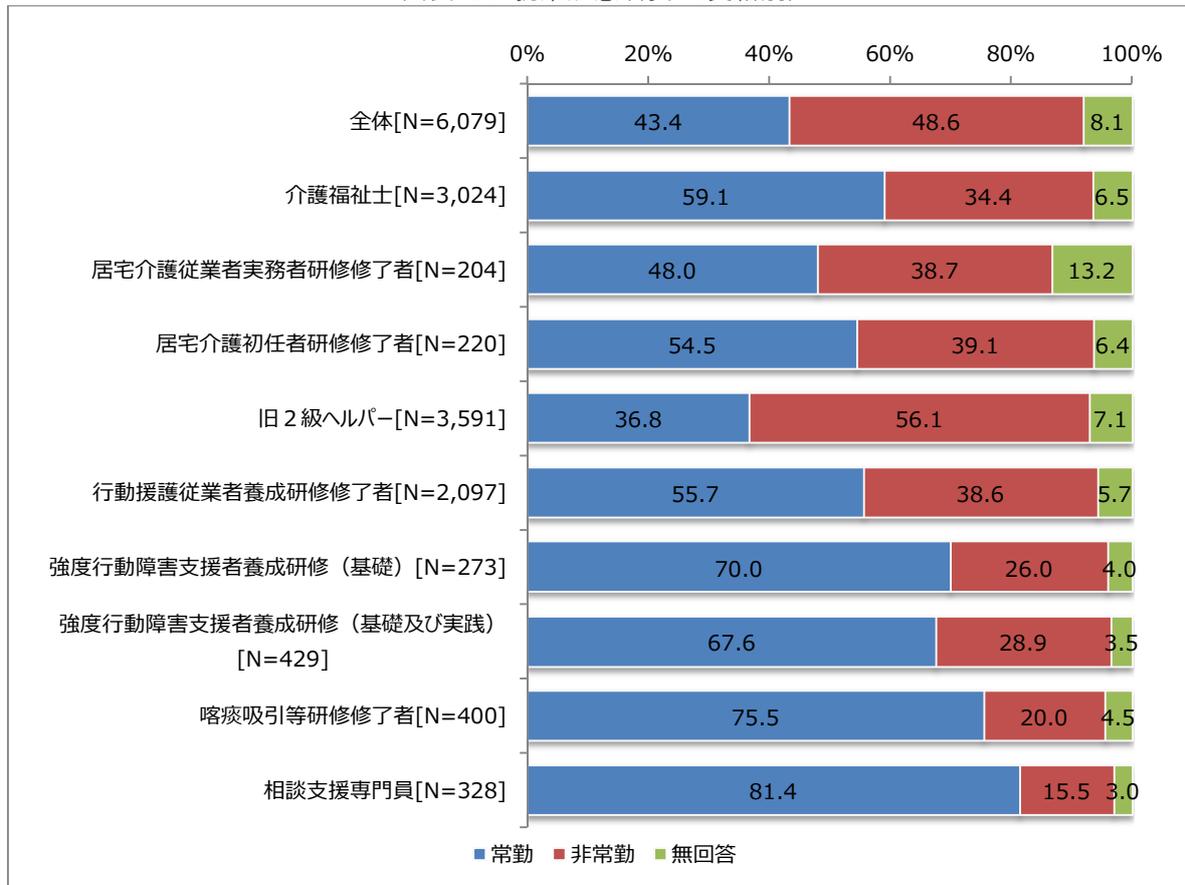
就業形態は、「非常勤」が48.6%、「常勤」が43.4%である。

図表 19 就業形態



職員の有する資格別に就業形態を見ると、人数の多い「旧2級ヘルパー」については、非常勤の割合が高くなっている。「行動援護従業者養成研修修了者」については半数以上、「強度行動障害支援者養成研修」の修了者については約7割が常勤職員である。

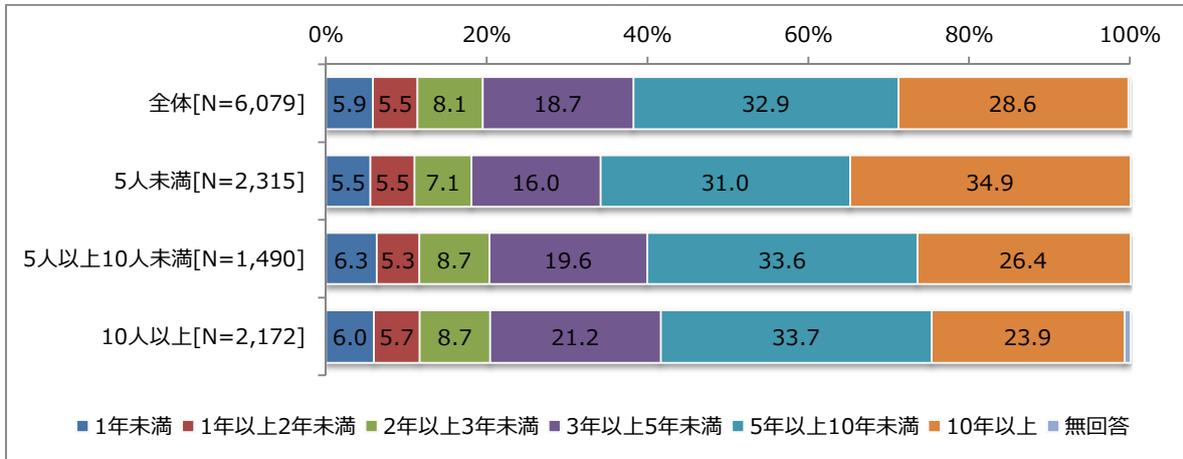
図表 20 就業形態(有する資格別)



④勤続年数

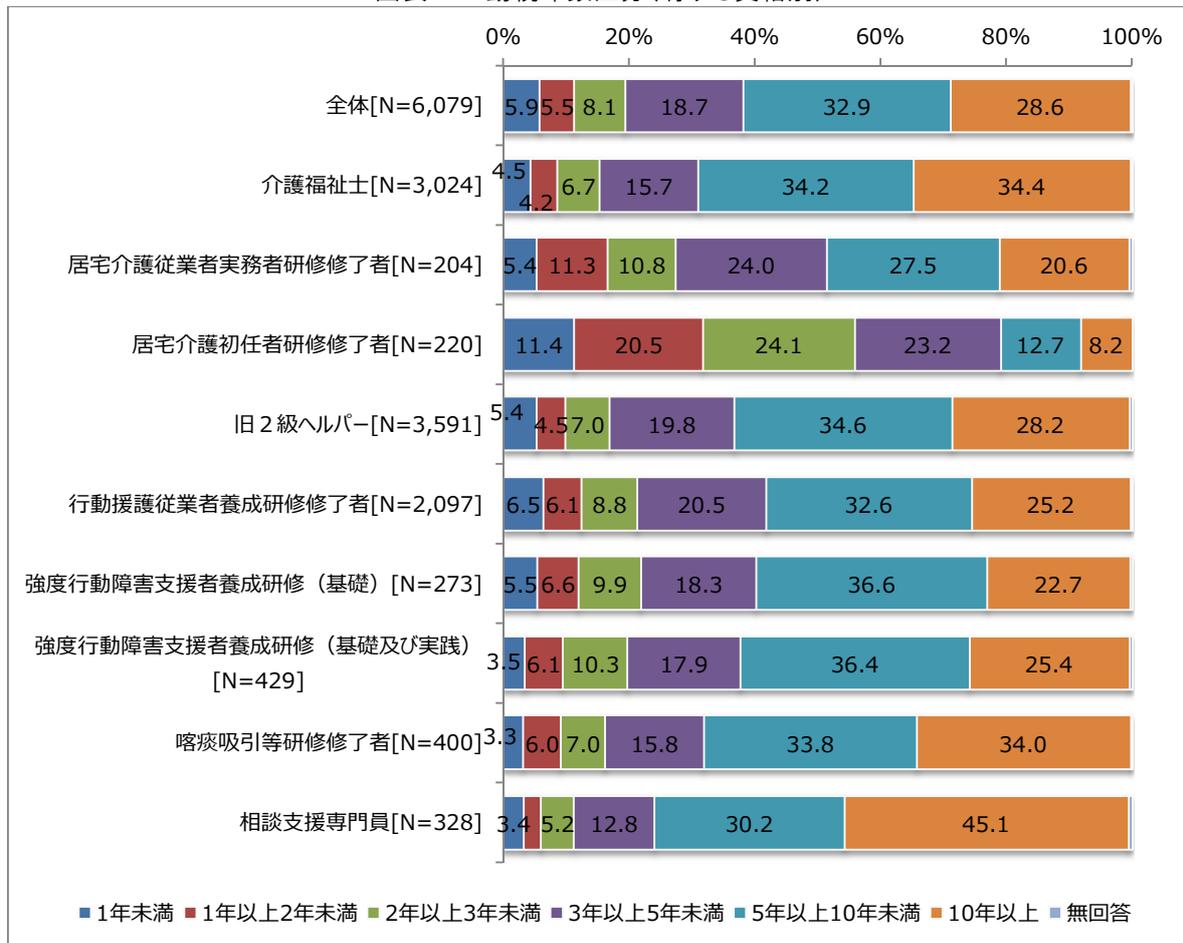
勤続年数の平均は7.3年となっており、年数区分で見ると、「5年以上10年未満」が32.9%、「10年以上」が28.6%、「3年以上5年未満」が18.7%等となっている。

図表 21 勤続年数区分



職員の有する資格別に勤続年数を見ると、「居宅介護初任者研修修了者」については、比較的勤続年数の短い人が多くなっている。「行動援護従業者養成研修修了者」及び「強度行動障害支援者養成研修」の修了者については、いずれも5年以上という人が6割程度となっている。

図表 22 勤続年数区分(有する資格別)



⑤勤務時間

平成28年9月の行動援護の勤務時間の平均は16.3時間/月、その他サービスの勤務時間の平均は70.7時間/月で、勤務時間合計の平均は87.0時間/月となっている。

図表 23 勤務時間

	全体[N=5,792]	5人未満 [N=2,176]	5人以上10人未 満[N=1,433]	10人以上 [N=2,101]
行動援護勤務時間（時間/月）	16.3	8.9	16.7	23.4
その他サービス勤務時間（時間/月）	70.7	82.4	65.7	63.6
勤務時間合計（時間/月）	87.0	91.3	82.3	87.0

職員の有する資格別に勤務時間を見ると、「行動援護従業者養成研修修了者」及び「強度行動障害支援者養成研修」の修了者については、行動援護の勤務時間が長くなっており、勤務時間全体に占める割合も高い。

図表 24 勤務時間(有する資格別)

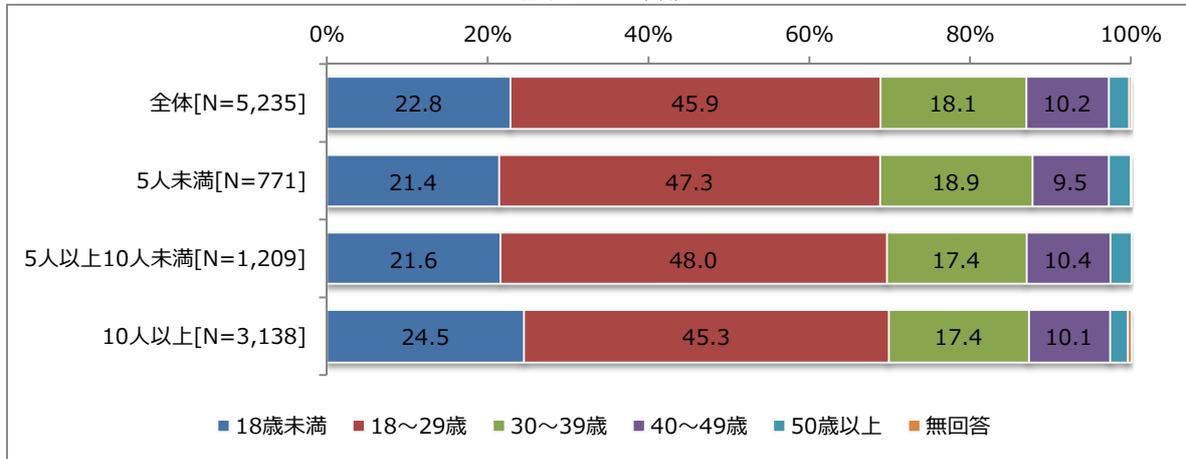
	行動援護勤務 時間 (時間/月)	その他サービ ス勤務時間 (時間/月)	勤務時間合計 (時間/月)	行動援護勤務 時間の割合
全体[N=5,792]	16.3	70.7	87.0	18.7%
介護福祉士[N=2,876]	16.7	81.4	98.1	17.0%
居宅介護従業者実務者研修修了者[N=192]	20.5	71.5	92.0	22.3%
居宅介護初任者研修修了者[N=214]	18.2	76.7	95.0	19.2%
旧2級ヘルパー[N=3,433]	16.6	64.7	81.3	20.4%
行動援護従業者養成研修修了者[N=2,017]	23.4	71.5	94.9	24.7%
強度行動障害支援者養成研修（基礎）[N=266]	24.1	79.5	103.6	23.2%
強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践）[N=413]	24.5	78.5	103.0	23.8%
喀痰吸引等研修修了者[N=389]	12.8	99.3	112.1	11.5%
相談支援専門員[N=303]	20.9	82.5	103.3	20.2%

(5) 行動援護サービス利用者の状況

① サービス利用者の年齢

サービス利用者の年齢は、「18～29歳」が45.9%、「18歳未満」が22.8%、「30～39歳」が18.1%、「40～49歳」が10.2%、「50歳以上」が2.5%となっている。

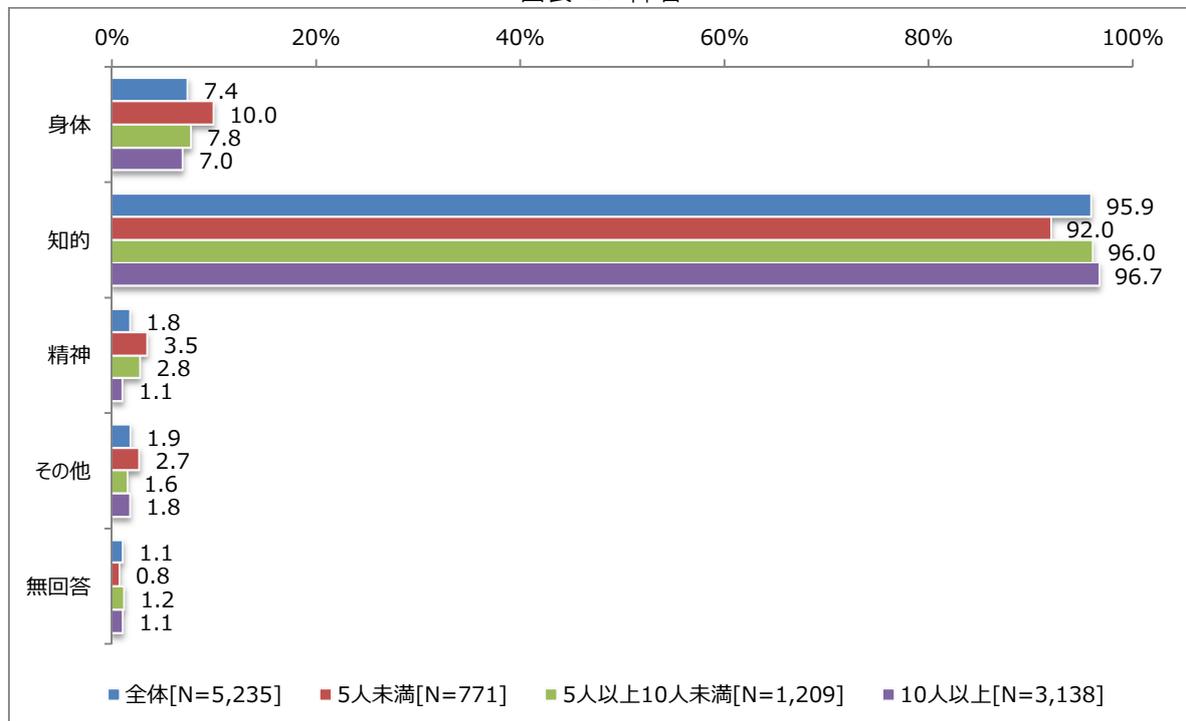
図表 25 年齢



② 障害種別

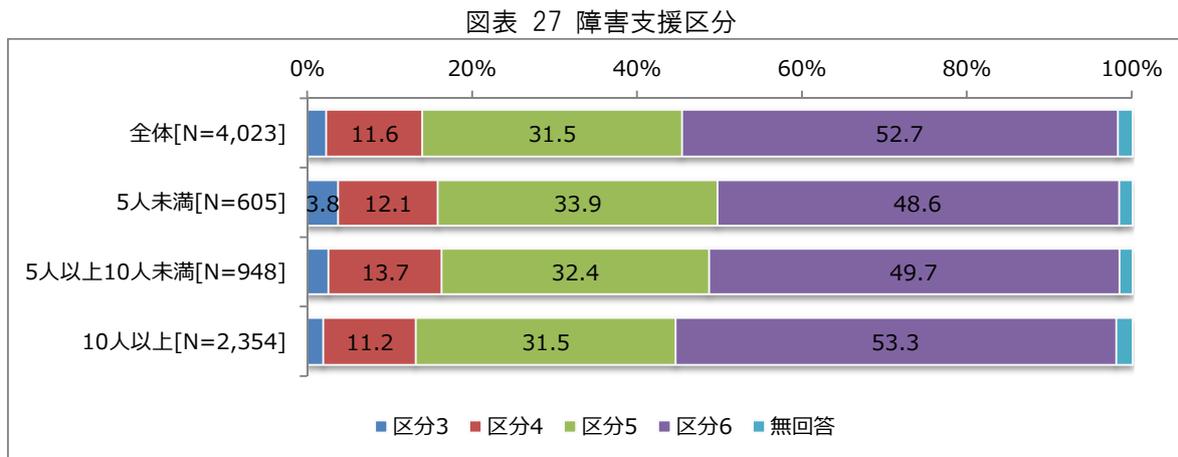
障害種別は、「知的」が95.9%、「身体」が7.4%、「その他」が1.9%、「精神」が1.8%となっている。

図表 26 障害

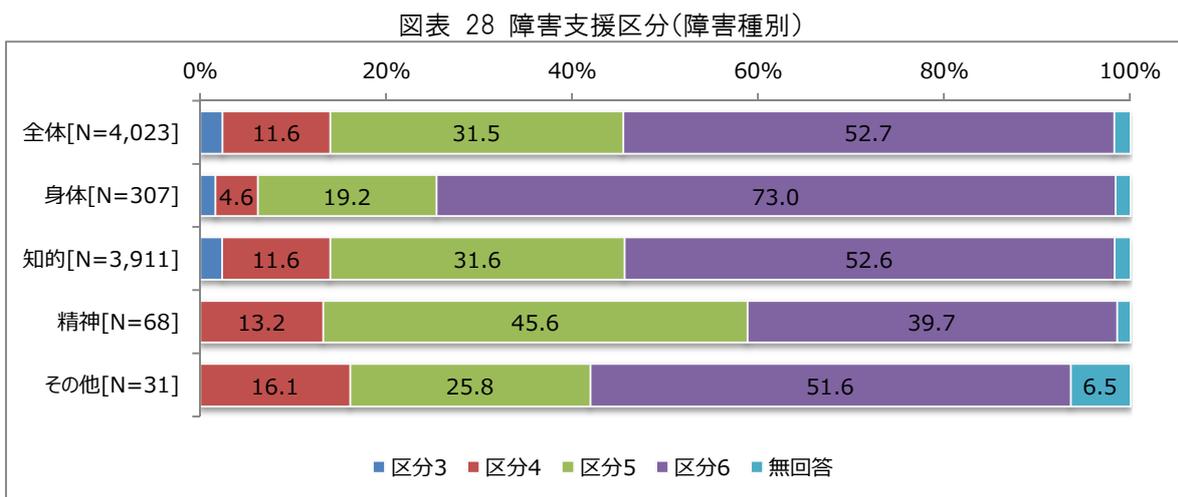


③障害支援区分

18歳以上の利用者の障害支援区分は、「区分6」が52.7%と半数を占め、次いで、「区分5」が31.5%となっている。

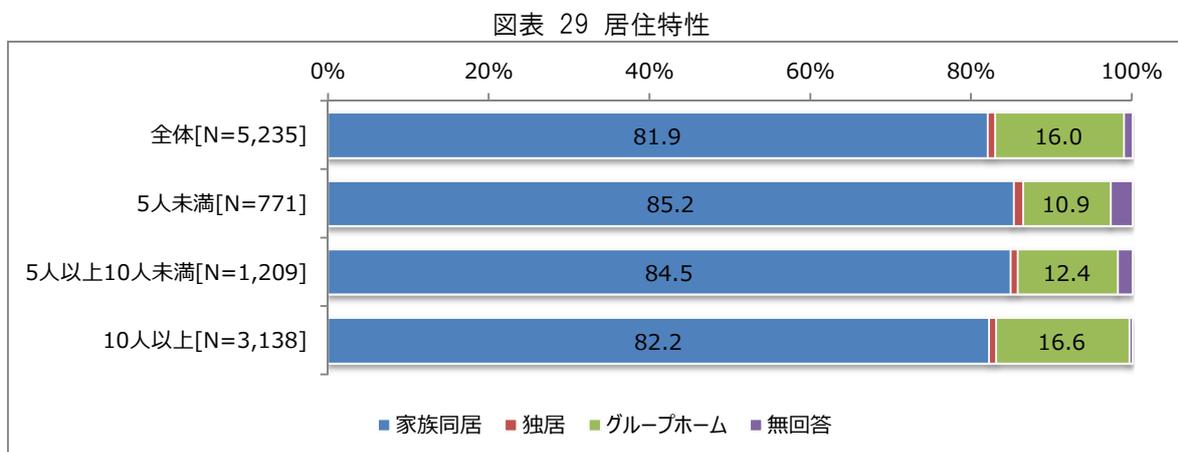


障害種別で利用者の障害支援区分を見ると、身体障害では「区分6」が多くなっている。知的障害では、「区分6」がほぼ半数、「区分5」が約3割となっている。



④居住特性

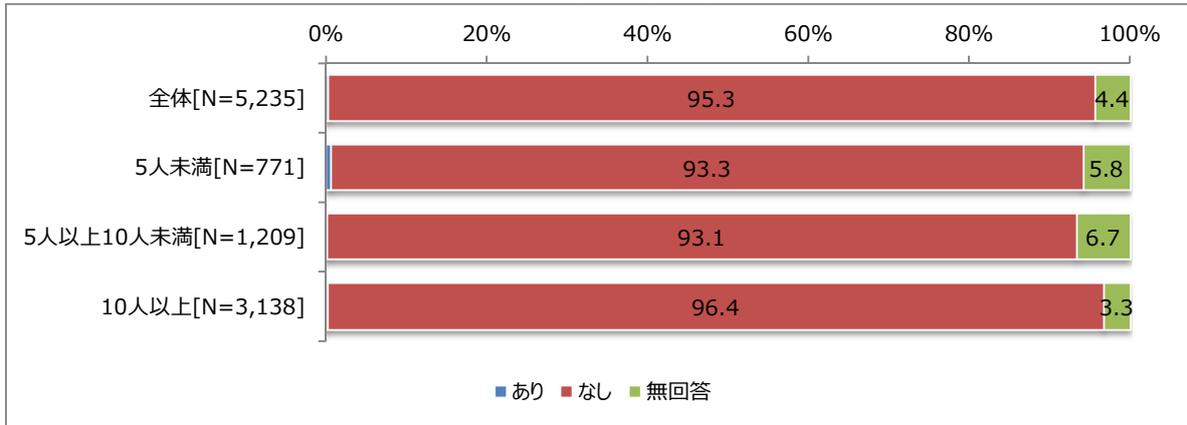
サービス利用者の居住特性は、「家族同居」が81.9%と多く、「グループホーム」は16.0%となっている。



⑤ 喀痰吸引の必要

「なし」が95.3%とほとんどを占める。

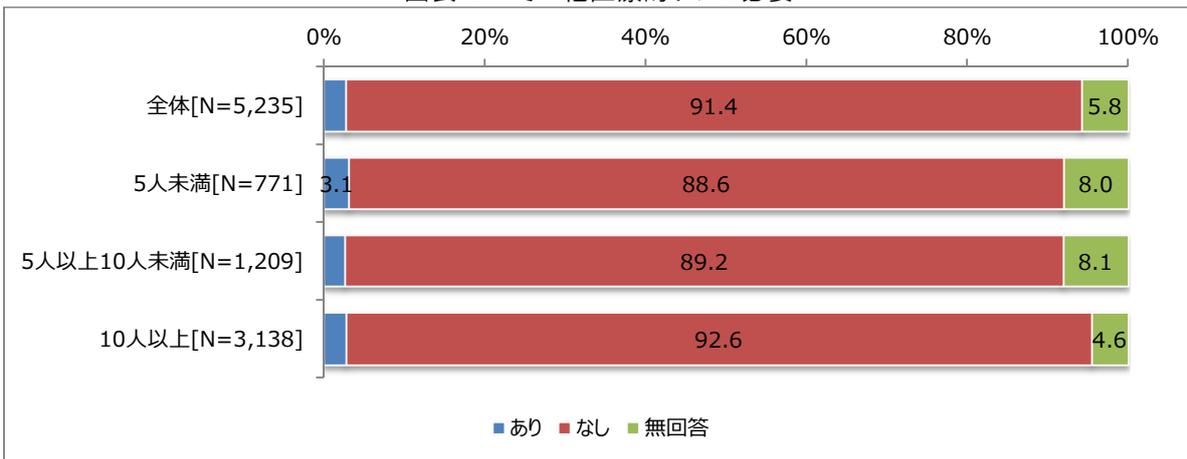
図表 30 喀痰吸引の必要



⑥ その他医療的ケアの必要

「なし」が91.4%とほとんどを占める。

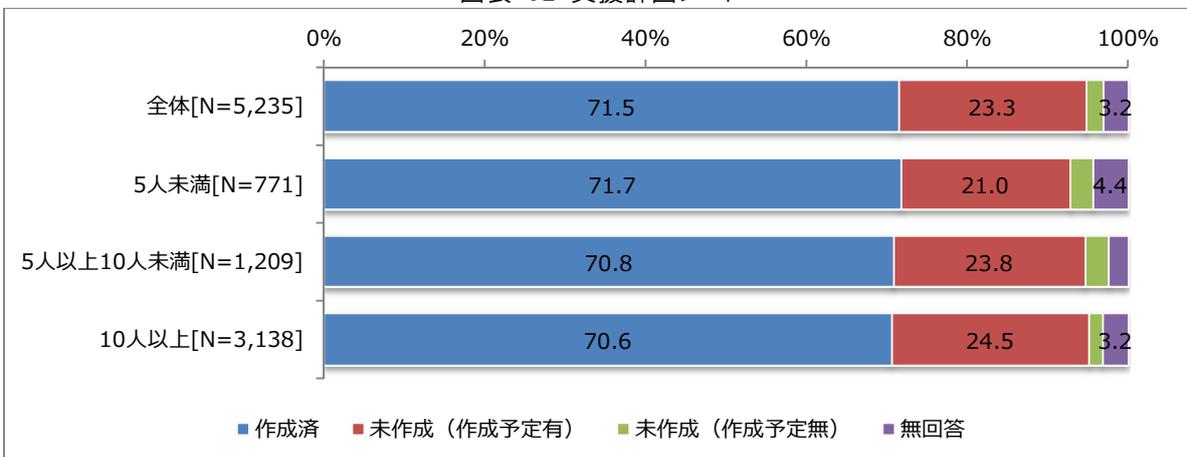
図表 31 その他医療的ケアの必要



⑦ 支援計画シートの作成状況

「作成済」が71.5%、「未作成（作成予定有）」が23.3%となっている。

図表 32 支援計画シート



⑧ サービス提供回数

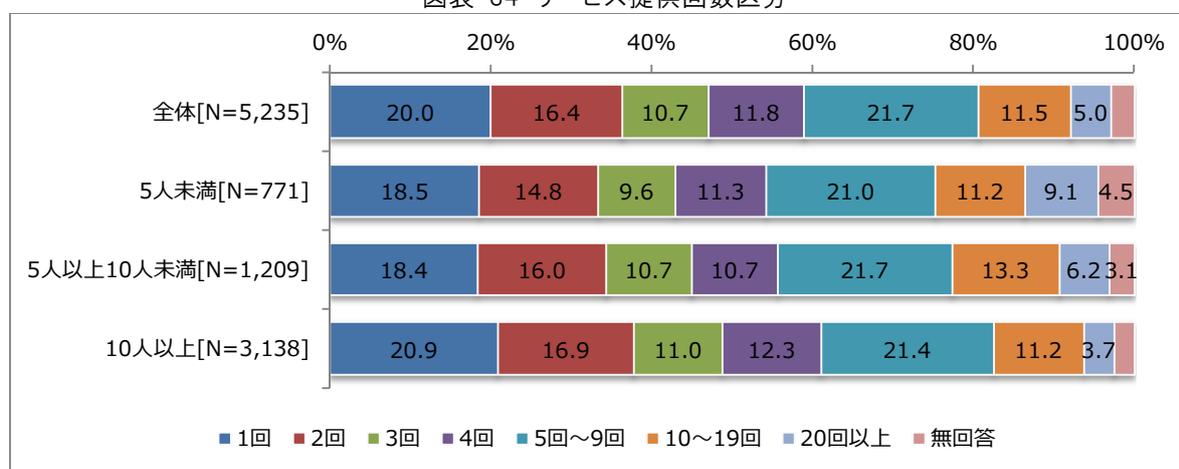
サービス提供回数については、平均で5.8回/月となっている。利用者の少ない事業所のサービスを利用している人の方が、回数の多い傾向が見られる。

図表 33 サービス提供回数

	全体 [N=5,082]	5人未満 [N=736]	5人以上10人未 満[N=1,171]	10人以上 [N=3,058]
平均値 (回/月)	5.8	7.1	6.4	5.4
中央値 (回/月)	4.0	4.0	4.0	3.0
最大値 (回/月)	75.0	56.0	75.0	60.0
最小値 (回/月)	1.0	1.0	1.0	1.0

サービス提供回数について、回数の区分で内訳を見ると、「20回以上」が21.7%である一方、「1回」も20.0%となっている。

図表 34 サービス提供回数区分



⑨ サービス提供時間

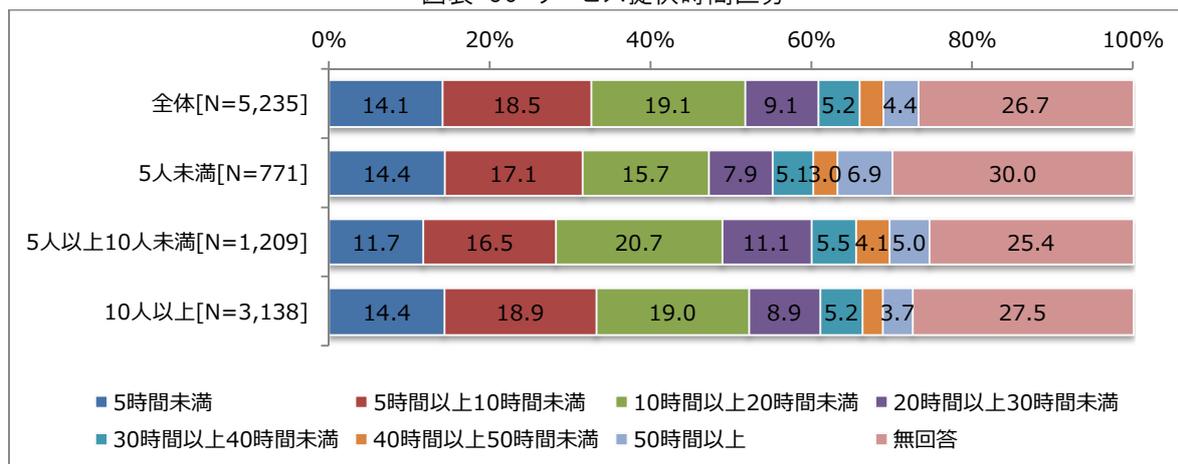
サービス提供時間については、平均で17.4時間/月となっている。内訳は、移動支援が平均14.5時間/月、居宅内アセスメントが平均0.5時間/月、その他支援が平均2.3時間/月で、移動支援の時間が長い。利用者の少ない事業所のサービスを利用している人の方が、時間の長い傾向が見られる。

図表 35 サービス提供時間

	全体 [N=3,835]	5人未満 [N=540]	5人以上10人未 満[N=902]	10人以上 [N=2,276]
総時間数 (時間/月)	17.4	19.7	19.6	16.4
移動支援 (時間/月)	14.5	16.5	16.6	13.5
居宅内アセスメント (時間/月)	0.5	0.9	0.5	0.5
その他支援 (時間/月)	2.3	2.3	2.5	2.3
総時間数の中央値 (時間/月)	11.0	10.8	13.5	10.5
総時間数の最大値 (時間/月)	238.0	238.0	234.0	160.0
総時間数の最小値 (時間/月)	0.5	0.5	0.5	0.5

サービス提供時間について、時間数の内訳で見ると、10時間未満が3割強となっている。

図表 36 サービス提供時間区分



⑩居宅介護等の利用時間

居宅介護サービスの利用時間平均は3.1時間/月、重度訪問介護サービスの利用時間平均は0.1時間/月となっている。

図表 37 居宅サービス利用時間

	全体[N=5,235]	5人未満 [N=771]	5人以上10人未 満[N=1,209]	10人以上 [N=3,138]
居宅介護利用時間（時間/月）	3.1	5.1	3.6	2.5
重度訪問介護利用時間（時間/月）	0.1	0.3	0.1	0.1